

平成
29年

春の火災予防運動

1週間
3/1 水 → 3/7 火

平成28年度
全国統一防火標語

消しましょう その火その時 その場所で

主な火災原因

火災発生件数
平成28年中

前年比

250件

44件減少!

放火46件 たばこ30件 コンロ29件

出火件数に占める割合
(疑いを含む)

18.4%

出火件数に占める割合

12.0%

出火件数に占める割合
(うち8件は天ぷら油火災)

11.6%



家族で放火防止について
話し合しましょう。

日ごろから隣近所で声をかけ
あって注意し
合しましょう。



たばこによる 火災をなくすためのポイント

- ポイント1 寝たばこをしない。
- ポイント2 たばこを灰皿に置いたまま、離れない。
- ポイント3 吸殻には水をかけ、完全に消してから捨てる。
- ポイント4 くわえたばこをしない。



コンロによる 火災をなくすためのポイント

- ポイント1 揚げ物をしているときは、その場を離れない。
- ポイント2 その場を離れるときには、必ず火を消す。
- ポイント3 コンロの近くに燃えやすい物を置かない。

警戒 放火による火災の発生を防ぎましょう!

仙台市では37年連続で出火原因の第一位は放火(疑いを含む)です。

- ポイント1 ゴミは収集日の朝、決められた場所にだす。
- ポイント2 家の周りに燃えやすいものを置かない。
- ポイント3 夜間照明等で、家の周りを明るくする。
- ポイント4 物置や車庫には施錠する。
- ポイント5 洗濯物の取り込みを忘れない。
- ポイント6 車やバイク等のボディカバーは防災品にする。
- ポイント7 郵便受けに新聞等をためないようにする。
- ポイント8 ご近所どうしで協力する。

住宅用火災警報器 正しく設置していますか？

住宅用火災警報器は、音や音声で早期に火災を知らせるものです。



「いのち」を守るために正しく設置しましょう。

◆設置箇所は？

基本的には「寝室」・「台所」・「階段(2階以上に寝室がある場合)」等です。

就寝に使用する部屋の天井又は壁面に設置します。

就寝に使用する部屋がある階の階段の踊り場の天井又は壁面に設置します。(ただし、避難階(1階など容易に避難できる階)の階段は除く)



台所の天井又は壁面に設置します。

住宅用火災警報器の維持管理をしよう

正常に作動するか、月に1回は点検しましょう！
点検は、居住者が自ら行ってください。

◆点検方法は…

点検は、ボタンを押したり、ひもがついているタイプのものは、ひもを引いて行えます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。



本体の寿命は機種によって異なりますが、
おおむね **10年** です！

住宅防火いのちを守る 7 のポイント

3つの習慣

寝たばこは、絶対やめる。

ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

スプレー缶に注意！

ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

寝具や衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。

お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制(声かけ)をつくる。

火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。

住宅火災における死者(放火自殺者等をのぞく)のうち約6割が65歳以上の高齢者です。

仙台市消防局
☎234-1111

青葉消防署
☎234-1121

宮城野消防署
☎284-9211

若林消防署
☎282-0119

太白消防署
☎244-1119

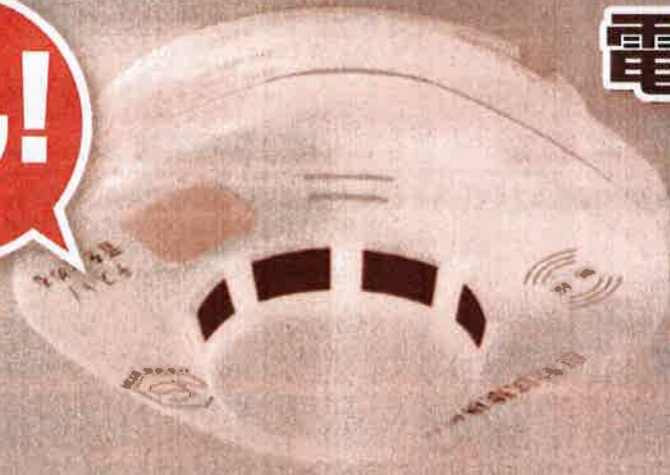
泉消防署
☎373-0119

宮城消防署
☎392-8119

仙台市消防局 仙台防火委員会 (公社)仙台市防災安全協会



電池切れ??



火災警報器の交換時期かも!?

火災警報器は「命」を守るための機器です！
交換期限が来る前に必ず交換をお願いします！



大塚工業(株)イメージキャラクター
「エコるん」

何で交換をしなければいけないの？

住宅用火災警報器の寿命は **約10年** です。
電池切れのサインが出たら本体の交換をお勧めします。

交換を
期に!



火災警報器には「熱」や「煙」を感知するセンサーが付いています。長期間の御使用により「ホコリ」や「汚れ」でセンサーの感度が低下し誤作動の原因となります。

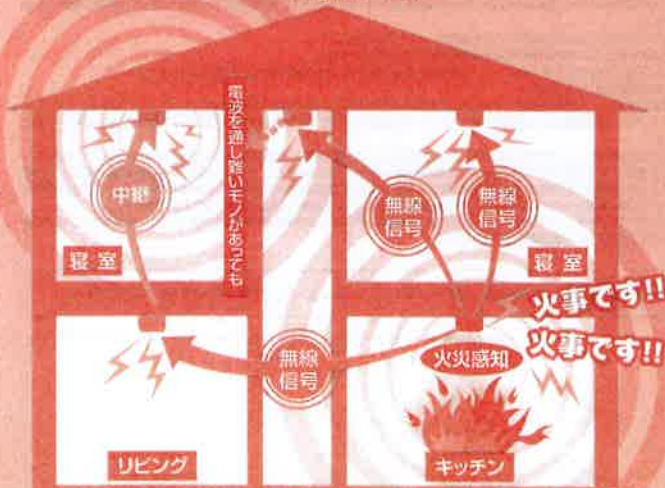
消防庁ホームページでも「10年を目安に交換して下さい」と記載されています!

消防庁ホームページ 住宅用火災警報器Q&Aより
URL: http://www.fdma.go.jp/html/life/yobou_contents/qa/index.html

DAIKENの住宅用火災警報器 1ランク上の安全性! 「火の元監視番 無線連動タイプ」のご紹介

「無線連動」で火元から遠くても安心!

無線連動タイプなら、どれか1つが異常を感知すると
全ての警報器が警報!



全てが観音だから特定の機器を住宅の中央に設置する制約がありません。

※住宅の構造、その他の条件が異なりますので、取扱説明書を必ずご確認ください。

「無線LEDフラッシュ」とセットで使うともっと安心!



設置場所の制約が無く、火災を「光と大きな音」で確実に知らせる無線連動の補助装置。

<p>火災を確実に知らせるために 枕元等に置く</p> <p>【注意】就寝時など警報音が聞こえ 難く早退に気付かぬ可能性があります。</p>	<p>枕元で音と赤色灯でお知らせ 高輝度LEDによる赤色+白色 フラッシュ 最大90dBの大音読</p> <p>赤色+白色の 高輝度LEDが フラッシュ</p> <p>確実に知らせる</p>	<p>避難時には懐中電灯として 火災時は懐電や音が立ちぬることにより 住宅上階の避難が見えなくなる可能性も。</p> <p>懐中電灯として 白色LED点灯</p> <p>避難・初期消火</p>
--	---	--

その他、「単独タイプ」もご用意しています。詳細は裏面へ。